

別添1

北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」要綱

運動スローガン

つなげよう！未来へ、みんなの力で！！

～増やそう、目指そう！3%増で「3万人会員増強」～

1 趣旨

今や「人生90年時代」を迎え、高齢者が住み慣れた地域の中で健康で心豊かに、いきいきと暮らし続けることができる「健康長寿社会」を築いていくためにも老人クラブへの期待は大きいものがあります。しかし、老人クラブ関係者のさまざまな加入促進の取り組みにもかかわらず、全国的にも、本道においても平成10年頃をピークにクラブ数、会員数とも減少に転じ、この傾向に歯止めがかからない状況にあります。

このため、北海道老人クラブ連合会（以下、「道老連」という）では、全国老人クラブ「100万人会員増強運動」に呼応し、道内の老人クラブ関係者の総力を結集して、組織活動の基盤となる会員増強に向け、市町村老人クラブ連合会（以下、「市町村老連」という）・単位クラブと一体となって魅力あるクラブづくりに取り組み、会員の加入促進とクラブの活性化に取り組む運動を進めるものです。

2 運動期間

平成26年度～平成31年度(6年間)

ただし、平成26年度は平成27年度以降の運動推進のための助走期間とし、全国運動の周知徹底、及び若手委員会・女性委員会等道老連内部組織での集中的な検討などによって環境整備に努めることにします。

3 運動目標

①道内2万3,700人新規会員増強「魅力あるクラブづくりで加入促進と退会者の防止」

H26.4 現在 150,000人 ⇒ H32.4 目標 173,700人(23,700人純増)

※2万3,700人増の目標値は、全国老人クラブ連合会(以下、「全老連」という)が老人クラブ「100万人会員増強運動」の数値目標(参考)として提示している会員数増ではなく、道老連で把握したH26.4.1現在の会員数150,053人を基礎としての増強数としています。

目標1	年間およそ3% (4,500～5,000人)の増	で2万3,700人
目標2	年間1クラブ2名純増(6,200人)で	3万1,000人
目標3	年間1市町村老連1クラブの新設・復活(7,000人)で	3万5千人

道老連全体では、「会員増強運動」の目指す数値目標は分かりやすい形にするため、**目標1**の年間およそ3%(4,500人～5,000人)の増を目標としますが、市町村老連・単位クラブは**目標1**年間およそ3%会員増、**目標2**年間1クラブ2名純増・5年で10人純増、**目標3**クラブの新設・復活など実情に沿った計画を立て運動を進めましょう。

②道老連独自運動「退会・加入休会市町村老連への復帰働きかけ」運動

目標4 H23.1 退会・加入休会市町村老連会員数 23,250人のできるだけ多くの復帰で6,300人の増

4 主 唱

全老連 道老連

5 実施主体

各市町村老連 各单位老人クラブ

6 運動の推進パワー・担い手

運動は役員やリーダーの力だけでは、なかなか進めません。

今こそ、老人クラブの3つのパワーを最大限引き出し運動を推進しよう！

・高年パワー：本道(札幌を除く)の75歳以上の高齢者は52万人。

会員増強の中心世代です。

・女性パワー：老人クラブ会員の6割は女性。

女性会員の結束で勧誘活動を強化しよう。

・若手パワー：若手高齢者(札幌を除く)は52万人。

若手高齢者、特に団塊世代を中心として多彩で魅力ある活動を自ら創造しよう。

7 共通実施運動

①会員増強を達成した成功事例をもとに、次の3つの取り組みを共通実施運動として提案します。

②必要に応じて、この共通実施運動に加え、各市町村老連で独自に実施運動・目標等を設定しましょう。

《3つの会員増強運動》

運動①「勧誘から始めよう！」—会員一人ひとりが勧誘の担い手です。—

- ・会員増強の成功例に共通するのは勧誘活動です。
- ・日常的な声かけ、戸別訪問などの勧誘活動を実践しよう。
- ・運動スローガンを高年、女性、若手会員で実践しよう。

運動②「クラブをPRしよう！」—知られていますか、あなたのクラブ—

- ・町内会・自治会活動に積極的に参加し、地域で存在が知られるようにしよう。
- ・行政と連携して「介護予防活動」の輪を地域の高齢者に広げよう。
- ・ロコミ、ポスター、チラシ、会報、ホームページ等に創意工夫をしよう。
- ・「いきいきサロン」はPRの場。運営にもかかわろう。

運動③「クラブをつくろう！」—すべての地域にクラブの設置を—

- ・町内会・自治会と連携して未設置地域に老人クラブをつくろう。
- ・解散の近隣クラブをホスト役に老連と連携してクラブを再生しよう。
- ・高齢者の増加に伴い、一地域に複数クラブの設置を目指そう。
- ・高齢者の意向が多様化する中、新しいタイプのクラブを考えよう。

8 取り組み体制への提案

運動の効果が高まるよう次の取り組みを提案します。これらを参考に単位クラブや市町村老連の実情に応じて、具体的な取り組み体制や目標を設定しましょう。

【単位クラブ】

- ① 計画設定・会員との合意形成
 - ・高年・女性・若手の複数名の代表者による合意形成の場をつくろう。
 - ・老人クラブの自己点検をしましょう。
 - ・増強目標の設定をしましょう。
 - ・勧誘の具体策についての合意形成をすすめましょう。
- ② 町内会、自治会関係者等への協力要請及び連携をすすめましょう。
 - ・地域内対象者の把握をしましょう。
- ③ 勧誘・PR活動の推進
 - ・地域の加入対象者への勧誘、訪問活動をしましょう。
 - ・サークル活動やクラブ行事への参加呼びかけをしましょう。
 - ・市町村老連との協働による新たな老人クラブづくりを進めましょう。

【市町村老連】

- ① 「会員増強運動推進委員会」(仮称)の設置
 - ・老人クラブ関係者のほか必要に応じて、行政、社会福祉協議会、自治

会、民生委員、地域包括支援センター等の参画にも考慮しましょう。

- ② 老人クラブの実態把握
 - ・会員数を「単位クラブ別」、「高年、女性、若手別」に把握しましょう。
- ③ 相談機能の強化
 - ・新たなクラブづくり、解散クラブ防止に向けた相談機能の強化をしましょう。
- ④ 目標の設定
 - ・月間、半年、年間等の具体的目標を設定しましょう。
 - ・復活、新設、会員ニーズによる新たなクラブづくりを進めましょう。
- ⑤ 市町村への協力要請・働きかけ
 - ・会員増強運動や老人クラブの活動を地域の方々に知っていただくため、市町村の広報誌への掲載や諸会議での周知などの広報について協力要請・働きかけをしましょう。
- ⑥ 成果の発表
 - ・定期的に目標と達成情報を公表し、具体的な成功例を共有しましょう。

【道老連】

- ① 会議、研修会、大会等における運動の周知
 - ・あらゆる機会を通じ、この運動の周知徹底を図ります。
 - ・会員増強運動チラシ等の作成・配布をします。
 - ・道内外における会員増強運動成功事例等の紹介をします。
 - ・市町村老連等に対する指導・助言を行います。
 - ・道老連ホームページ等による会員増強運動成功事例の情報発信をします。
- ② 目標値の設定
 - ・道老連の目標値の設定及び市町村老連における目標値の把握をします。
- ③ 道への協力要請
 - ・北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」の市町村等への周知などの広報をしていただけるよう協力要請をします。また、道老連や市町村老連活動事業などに対する支援をお願いします。
- ④ 北海道社会福祉協議会、北海道町内会連合会及び北海道民生児童委員連盟への協力要請
 - ・道老連のクラブ会員増強運動について、上記団体等の広報誌などに掲載していただけるよう協力要請します。
- ⑤ 成果の公表と報告
 - ・毎年、目標値に対する成果を全老連に報告するとともに、市町村老連の成果を公表します。
- ⑥ 道老連会長による表彰及び全老連「100万人会員増強運動特別賞」への推薦

- ・目標を達成した市町村老連及び単位クラブに対し、別に定める「会員増強運動特別賞」贈呈要綱により、1年ごと及び最終年に特別賞を授与します。
 - ・上記表彰団体の中から、全国老人クラブ連合会が実施する「100万人会員増強運動特別賞」へ推薦します。
- ⑦ 女性委員会、若手委員会等による運動の推進
- ・女性委員会及び若手委員会において会員増強の有効な手立てについて引き続き検討を行い、その提言を毎年度の事業計画及び北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」に反映させます。
 - ・市町村老連女性委員会・若手委員会の設置促進に向け、委員会の立ち上げを計画している市町村老連に対し必要な指導・助言をします。

9 成果の取りまとめと報告

各市町村老連は、目標計画を独自に設定し、毎年度、達成状況を取りまとめ別に定める様式により道老連に報告することになります。

10 その他

この要綱のさらに具体的な推進方策については、市町村老連会長・事務局長会議及び道老連各種委員会等で意見を聴き、必要に応じ道老連理事会・評議員会等に諮り進めることにします。

附則 この要綱は、平成 27 年 3 月 27 日から施行する。